

国道115号 あぶくまひがし 阿武隈東道路
「たまの玉野トンネル（仮称）貫通式」のお知らせ
～阿武隈東道路の最後のトンネルが貫通～

相馬福島道路の阿武隈東道路は復興のリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられ、平成28年度の開通に向けて工事を進めております。

この度、阿武隈東道路としては最後のトンネル工事となる「玉野トンネル（仮称）」（延長968m）が貫通を迎えたことから、下記により貫通式を執り行いますのでお知らせ致します。

また、貫通式では相馬市長をはじめ、来賓者の通り初めを行う他、玉野小学校の生徒による「相馬民謡」や玉野中学校の生徒による「南中ソーランの踊り」の披露も行われる予定です。

- 日時：平成28年2月2日（火） 10：00から
- 場所：福島県相馬市玉野字東玉野地内【別紙1参照】
（玉野トンネル坑内）
- 主催：西松建設株式会社 東北支店
- 内容：貫通発破、貫通点清めの儀、貫通点通り初めの儀、ほか【別紙2参照】
- 玉野トンネル（仮称）の概要
延長：968m
幅員：12.0m（1.75+3.5+1.5+3.5+1.75）
車線数：2車線
掘削工法：NATM（発破掘削）工法

発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
南相馬市役所記者クラブ

問い合わせ先

【式典や施工内容に関すること】
西松建設株式会社 玉野トンネル出張所
現場事務所 0244-26-5462
現場代理人 くすのせ 楠瀬 りゆうたろう 竜太郎

【事業に関すること】
国土交通省 東北地方整備局
磐城国道事務所 0246-23-2211（代表）
副所長 ちば 千葉 とみひこ 富彦（内線204）
工務課長 いわぶち 岩淵 まこと 誠（内線411）

相馬福島道路(阿武隈東道路)

たまの 玉野トンネル貫通式典会場案内図



玉野トンネル(仮称) 貫通式

日時：平成28年2月2日(火)
10:00～

会場：福島県相馬市玉野字東玉野地内
玉野トンネル坑内

主催：西松建設株式会社 東北支店

次 第

- 一、開式
- 一、貫通発破
- 一、貫通報告
- 一、貫通点清めの儀
- 一、貫通点通り初めの儀
- 一、発注者挨拶
- 一、来賓挨拶
- 一、合格祈願貫通石贈呈
- 一、樽神輿入場
- 一、鏡開き
- 一、乾杯
- 一、「相馬民謡」玉野小学校
- 一、「南中ソーラン」玉野中学校
- 一、施工者謝辞
- 一、万歳三唱
- 一、閉式

玉野トンネル工事

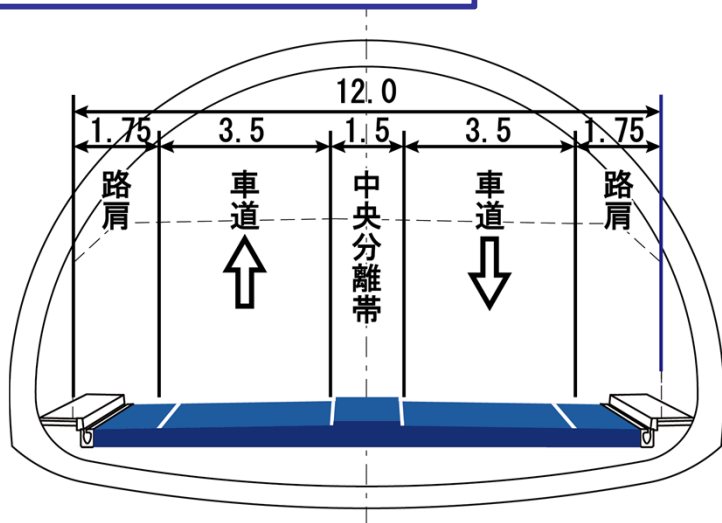
工事概要

本工事は、相馬福島道路(阿武隈東道路)の相馬市東玉野地区においてトンネルを作る工事です。

工事名: 玉野トンネル工事
 施工者: 西松建設株式会社
 工事場所: 福島県相馬市東玉野 地内
 工事期間: 平成25年11月19日～平成28年2月22日
 工事内容: 玉野トンネル(仮称) 延長 L=968m
 NATM(発破掘削)工法

○掘削に要した期間
 約17ヶ月 (掘削着手 平成26年9月)

トンネル標準断面図



施工時の写真



ズリ搬出



支保工組立



防水シート貼付



コンクリート打設



現場見学会(地域住民)



現場見学会(地元中学校)

【復興支援道路】一般国道115号 相馬福島道路の概要

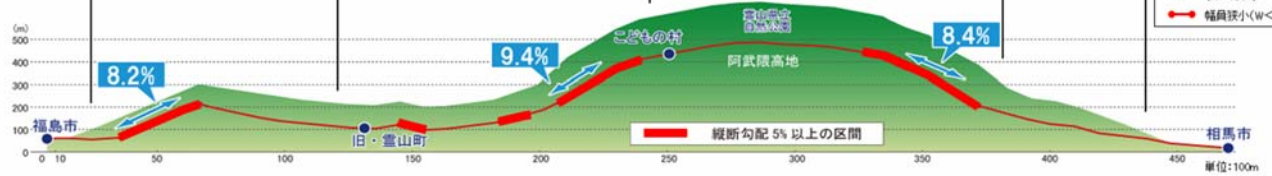
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



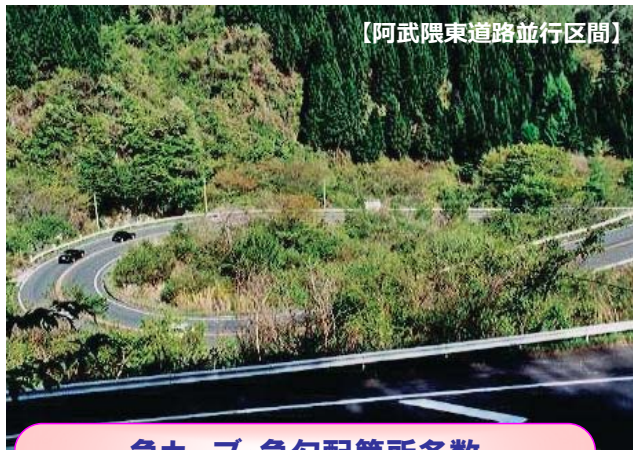
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

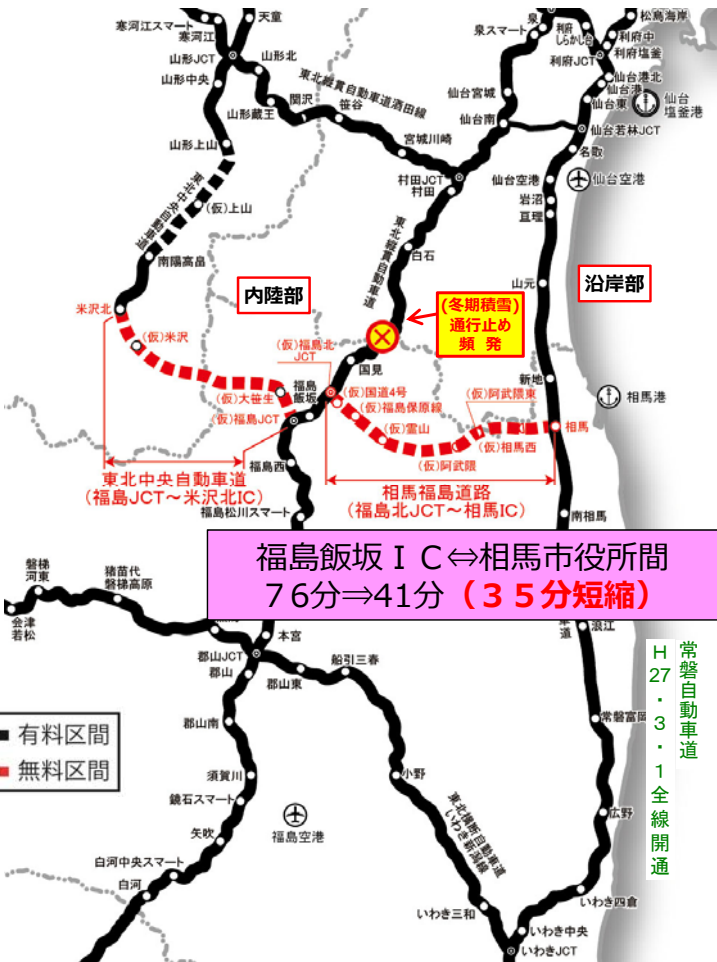


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

冬期迂回ルート
迂回率 1.74
大型車1台当たり約1,700円の迂回損失

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)

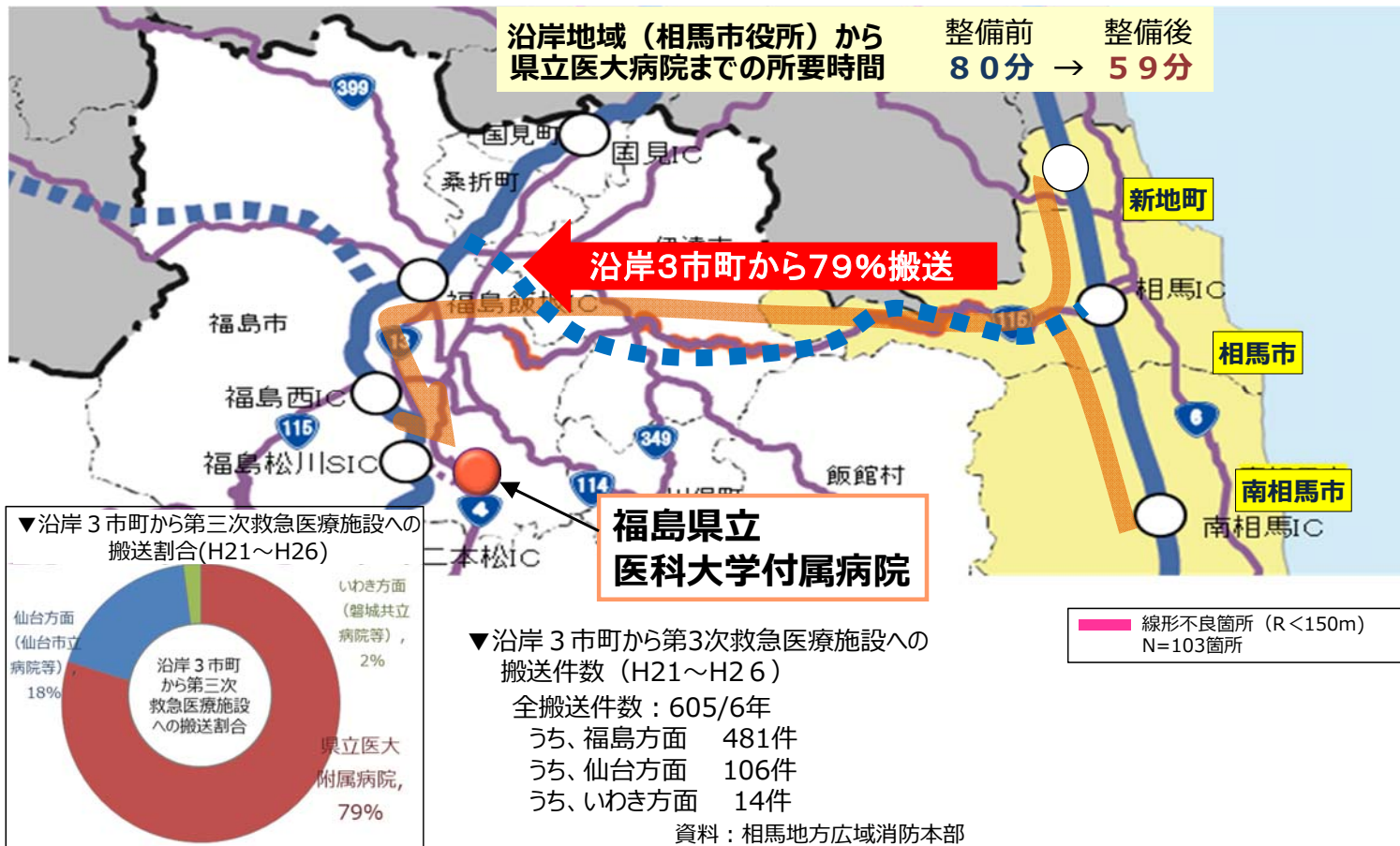


国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

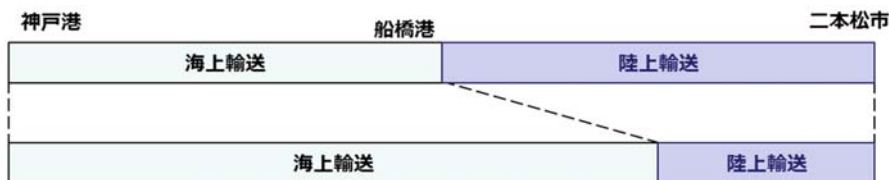
2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



before



相馬港